

# 論文審査の要旨

報告番号	修第 1304 号	氏名	本寺哲一
論文審査担当者	主査 下司映一 副査 福地邦彦 副査 鈴木久義		
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>本論文の要旨は、 「MRI検査において、脳血管評価の検査法として、three dimension-time of flight-magnetic resonance angiography (3D-TOF-MRA) は代表的な撮像法の一つであるが、血流状態あるいは治療後の治療デバイスによって血管の描出不良をきたすことがある。近年、高機能MRI装置では、3D-black blood imaging (BBI) を用いることで、その血管の描出不良を改善することができる」と報告されている。しかし、汎用型MRI装置では、装置の性能に制限があるため、3D-BBIの撮像が不可能な場合が多く、有効な画像が得られない現状がある。今回、汎用型MRI装置においても撮像可能であるシーケンス2D-T2-fast spin echo (FSE) シーケンスを用いて、脳血管2D-BBIの至適撮像条件に関して、実効TE・rBW・ETLの検討を行った。2D-T2-FSE法を用いた脳血管BBIの至適撮像条件として、実効TEの値を短く設定すること、あるいはrBWの値を低く設定することが最適であり、汎用型MRI装置でも脳血管の評価が可能であることが明らかとなった。」 とするものである。</p> <p>本論分の内容は、脳血管の評価を、汎用型MRI装置を用いて行う上で有用であり、学術的価値の高いものと考えられ、修士論文に値するものと判断した。</p>			